

授業科目名	大学体育論
科目番号	0BVA001 / 02JD001
単位数	1.0単位
標準履修年次	1年次
時間割	筑波:春ABC 鹿屋:前期、月1回土曜1・2・3限、集中
担当教員	木内敦詞、小林勝法、松尾博一
授業概要	体育以外を専攻する大学生対象に開講される、教養(共通)科目としての体育授業を、一般に「大学体育」と呼ぶ。体育を専攻する大学院生が修了後に大学で職を得る場合、その多くがこの大学体育を主に担当することになる。体育以外を専攻する大学生への体育授業や運動部活動のあり方を考えることは、将来の大学体育教員をめざす大学院生へ向けたキャリア教育ともいえる。本講では、今日の大学教養体育教員に求められる職務の理解を深めるとともに、大学体育や大学スポーツの教育・指導の質保証に繋がる知見を体系的に学ぶ。授業設計のレポートおよび授業中の討論への積極性から総合的に評価する。
備考	筑波大学開講(遠隔授業)
授業形態	講義及び演習
学位プログラム・コンピテンシとの関係	「マネジメント能力」に関連する。
授業の到達目標 (学修成果)	(1) 大学体育の歴史やこれまでの変遷過程の概略を説明できる。 (2) 自身の勤務する/したい大学の教育理念を理解し、説明できる。 (3) 大学の体育授業や運動部活動の指導に関する自己の教育理念を言語化できる。 (4) 自己の教育理念に基づいて、当該大学の教育理念に通じる体育授業や運動部活動の指導を設計できる。
キーワード	大学体育、教養教育、シラバス、3つのポリシー、FD、IR、大学スポーツ、スポーツ・ライフ・バランス、キャリア成熟
授業計画	1.本共同専攻設置の趣旨 2.大学体育の理念、現状、課題 3.授業シラバスの分析 4.大学スポーツの現状と課題 5.スポーツを通じたライフスキル教育 6.スポーツ・ライフ・バランス 7.インストラクショナル・デザイン 8.授業の目的-内容-評価の対応 9.大学の教育理念と体育授業の整合性 10.体育授業／運動部活動指導の再設計
履修条件	
成績評価方法	プレゼンテーション内容と質疑応答50%、レポート50%、
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(50%)と演習(50%)を併用する。 授業終了時に毎回宿題を課すので、期日までにレポート提出のこと。 下欄に挙げる文献のうち、興味のあるものいくつかを読むことが望ましい。
教材・参考文献・配布資料等	『未来を開く大学体育:授業研究の理論と方法』橋本公雄ほか、福村出版、2012 『大学教員準備講座』夏目達也ほか、玉川大学出版部、2010 『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』九州大学健康科学センター、2008 『大学の教務 Q&A』中井俊樹ほか、玉川大学出版部、2012 『大学のIR Q&A』中井俊樹ほか、玉川大学出版部、2013 『大学体育学 2004-2018→大学体育スポーツ学研究 2019～』全国大学体育連合 『大学体育』全国大学体育連合
オフィスアワー	体育系棟B313。曜日時間は特に定めないが、重複を避けるため、事前に連絡を取ることが望ましい。 kiuchi.atsushi.fw@u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	全国大学体育連合によるFD研修会や研究フォーラムへ参加するなど、大学体育教員としての継続的な研鑽を望む。
他の授業科目との関連	本専攻の起点となる必修科目